

## 医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部脳神経外科では、福井大学医学系研究倫理審査委員会または他の倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関する既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを使用しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究データの解析前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

その他研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。

福井大学医学部脳神経外科

承認日:2026年4月30日

ver.1.0

### 【研究課題名】

臨床実習後の自由記載アンケートを用いた医学生の将来像と実習経験の認識に関する計量テキスト分析

### 【研究期間】

研究機関の長の許可日～2031年12月31日

### 【研究の目的・意義】

本研究の目的は、2025年4月1日～2030年3月31日の期間に脳神経外科にて臨床実習を行い、教育目的のアンケートである自由記載アンケートを用いて、医学生が5年後・10年後・20年後の自己像をどのように描いているか、臨

床実習を通してどのような学習経験や印象を持ったか、を明らかにすることです。

あわせて、将来像に関する記述と実習感想に関する記述をそれぞれ計量テキスト分析し、語彙の特徴、共起関係、記述内容の傾向を可視化することで、学生の職業的自己像の形成および実習経験の教育的意味を検討します。これは、従来見過ごされがちであった学生の内省や価値観、キャリア意識を可視化する点で意義があります。

また、実習後感想から、学生にとって印象的であった教育的要素(例:指導、カンファレンス、手術見学、カルテ記載、フィードバック等)を把握することで、今後の臨床実習の内容や指導体制の改善に資する知見が得られる可能性があります。さらに、将来像の記述を分析することで、実習が医学生のキャリアイメージ形成にどのような示唆を与えているかを検討する基盤となります。

## 【研究の内容】

### 1. 研究の対象となる方

2025年4月1日～2030年3月31日の期間に脳神経外科にて臨床実習を行い、教育目的のアンケートである自由記載アンケートを記載した医学生

### 2. 研究に用いる試料・情報

アンケート自由記載の内容として、以下の5項目を収集する。

1. 5年後の自分はどうなっているか
2. 10年後の自分はどうなっているか
3. 20年後の自分はどうなっているか
4. 実習に対する改善点
5. 実習に対する感想

加えて、必要に応じて学年、性別の属性情報を収集します。ただし、個人を直接特定しうる情報は解析対象から除外します。なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

### 3. 研究の方法

データ処理:収集したデータは匿名化し、氏名等の個人識別情報を削除したうえで解析用データセットを作成します。自由記載の前処理として、表記ゆれの統一、定型的な礼辞表現等の調整、必要な複合語の登録を行い、解析可能な形式に整えます。

解析方法:解析は計量テキスト分析ソフトウェア(KH Coder)を用いて行います。

将来像に関する3設問は「将来像」群、実習感想の設問は「実習感想」群として分けて解析します。主な解析内容は以下のとおりです。

頻出語分析:各設問群において多く出現する語を抽出し、記述の特徴を把握します。

共起ネットワーク分析:語と語の共起関係を可視化し、学生の記述の中でどのような概念が結び付いているかを検討します。

注目語を中心とした関連分析:指導、研究、大学院、専門医、家庭など、将来像や教育経験を特徴づける注目語を設定し、それらと共起する語の特徴を検討します。

#### 属性別比較(必要に応じて)

学年や性別により、語彙の特徴や記述傾向の違いを比較検討します。

解析結果は探索的に語りの構造を把握し、教育的解釈を行うことを主眼とします。

#### 【研究結果の開示】

研究責任者および研究分担者は、研究対象者より、研究結果について開示を求められた場合は、速やかに対応いたします。

#### 【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、研究者が所属する診療科の研究費を用いて行われます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

#### 【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、他の研究対象となる方の個人情報等の保護および本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

**【個人情報の開示等に関する手続き】**

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

[http://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_about/disclosure/privacy/](http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/)

**【本学における研究責任者】**

福井大学医学部脳神経外科 教授 菊田健一郎

**【本研究に関する問い合わせ窓口など】**

○問い合わせ窓口(ご自身の試料や情報を使用されたくない方はこちらまでご連絡下さい)

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部脳神経外科

電話:0776-61-3111(内線 2364)

FAX:0776-61-8115

E-mail:itaku@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)